

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(8/10)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの 平均値 にIIIを 加味)	I 目標に向けた取組 の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と 地域独自の取組の状 況	III 現地調 査時の指 摘事項及 び対応状 況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
次世代型農業 生産構造確立 特区 (山口県等)	準	C 3.4	B 3.7  進捗度 ・経営の多角化等 による新たな雇用の確保 163%  ・光熱動力費削減 額(※) 等  (※)は定性的評価	B 3.5  規制の特例等 ・国庫補助事業で 整備した施設の財 産処分手続きの簡 素化  財政支援等 ・国営緊急農地再 編整備事業 等  地域独自の取組 ・やまぐち集落営農 生産拡大事業(農 業機械導入に対 する補助) 等	-0.25	<p>・<u>農地集積や新規雇用拡大の基盤は整いつつある(※1)。今後、当初の地下水位制御による効率的農業生産、6次産業化推進、エネルギーの地産地消の連携効果(※2)の具体化を期待。</u></p> <p>・<u>集落営農法人への農地集積について具体的な取組の方向性の説明が進捗管理には必要。</u></p> <p>※1: 地下水位制御システムを導入する国営事業に関する調整が進展し、平成25年度より本格的工事着工予定。国営事業により、圃場の大区画化と排水対策が進み、法人による営農開始につながる。</p> <p>※2: 生産基盤の整備と産業化、生産基盤整備とともに太陽光パネルを設置することによるコスト低減と売上げの増。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 \*2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。